

前回(7月17日付)は、金長約3千キロの「九州自然歩道」の秋月から冷水峠までの歩き旅でした。今月は、大根地山(652メートル)へと歩を進めます。

夜須高原から冷水峠に出ると、筑豊と筑後をつなぐ要所といっだけあって、自動車がひつきりなしに通ります。左に100メートルほど行くと、九州自然歩道の大きな看板と大根地神社の鳥居があります。ここから参道を通り、大根地山山頂へと向かいります。

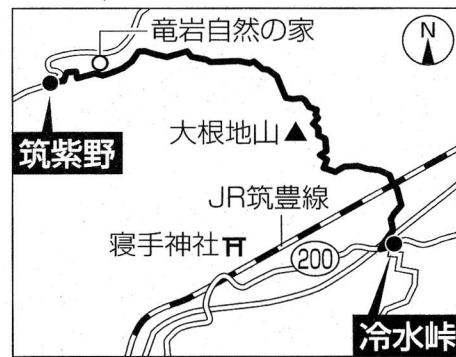
冷水峠—筑紫野

先ほどの冷水峠とはうつて変わって、人っ子一人いない舗装された参道の一本道を雨の中歩いてきました。大根地神社は、太古から靈山として英彦山や宝満山の山伏たちの回峰修道場であり、参道は厳肅な気持ちになる雰囲気。ところどころある鳥居をくぐりながら「あと少し、あと少し」と思いながら登り、

雄大な景色を堪能して

そろりそろりと移動したのです。JR筑豊線(200)と並んで走る道65号と合流し、三郡山へ向かいます。

福岡県筑紫野市の香園地区の集落に出て、田園風景や家々が見えて人里という感じがします。ここには同市立竜岩自然の家があり、キャンプ場やロッジなどを完備しているので、宿泊ポイントとして最適です。そして、自然の家を右手に進むと県



あるー! 九州自然歩道の旅⑬

福島 優



山頂にある大根地神社から見た虹

冷水峠から約2・3キロで大根地神社に到着です。さっそく参拝。神社では「ありがとうございます」と言いました」と言うようにしています。

ここまで何事もなく来られたことを感謝の気持ちです。

神社で休憩していると、雨があがり、虹が現れました。しかも二重に。こういうときは自然

からのご褒美と感じます。雨の中ひたすら歩いて「キツイ」「つらい」と思つこともあります。その後はとてもすてきな自然が見られることが何よりです。自然を堪能していると、どこからともなくスズメバチがやってきました。これは危ないと



冷水峠から大根地神社への参道入り口